

各地の話題 白石市

農産物加工販売・販売に注力する農業者

2025年2月7日号掲載

全国農業
新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

白石市大平の村上^{さとる} 悟さんは、父の^{ただし} 賛さんと母のさきさんとともに、地域の農業を多角的に盛り上げようと奮闘している。

悟さんは父母が結んでいた家族経営協定に加入したことをきっかけに、農業経営改善計画を変更申請して認定農業者となった。農産物の加工や製造、販売する屋号「むらかみさんち」を掲げて走り回る毎日だ。

元シイタケ農家だった賛さんは、時代の移り変わりを読み稲作へと転換し、地域の担い手として成長。市内の他地区から嫁いださきさんは、育ってきた環境を生かして、梅干しや笹巻を作り始め、「むらかみさんち」の名称で加工品販売に取り組んだ。両親の実績が基盤となった「むらかみさんち」は、市内福岡地区にある直売所「おもしろいし市場」で切餅や草餅などを販売。売場で重要な一角を占めている。

最近ではモナカの側に手作りあんこを挟んで食べる「MONAPARI(モナパリ)」を発売。市のふるさと納税サイトのスイーツ部門で人気商品となり、問い合わせも増えている。

「接客は得意ではない」と語る悟さんだが、時代の変遷を読む父の才覚と、鋭敏な味覚と思慮深い母の愛を受けた若き経営者の目は自信に満ちている。

【記事提供】 白石市農業委員会

村上悟さん



商品を売り場に陳列する村上さん



MONAPARI

